

久留米工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	政治学	
科目基礎情報							
科目番号	5MG11		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	材料工学科(2016年度以前入学生)		対象学年		5		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	毎回、レジュメを配布します。参考文献は適宜紹介します。						
担当教員	鎌田 厚志						
到達目標							
1、デモクラシーの基本原理・政治概念の基礎知識の習得。 2、デモクラシーおよび政治概念の背景を成す歴史の理解。 3、現代社会の政治的・経済的課題の基礎的な理解。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	政治思想の基礎的な概念の知識を持ち、説明できる。		政治思想の基礎的な概念を理解している。		政治思想の基礎的な概念を理解していない。		
評価項目2	政治思想の背景となる歴史の知識を持ち、説明できる。		政治思想の背景となる歴史を理解している。		政治思想の背景となる歴史を理解していない。		
評価項目3	現代社会の課題を探究・理解し自ら思考できる。		現代社会に問題意識を持ち思考している。		現代社会の諸問題に無関心である。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	政治について私たちが考える際に使う概念についての基礎的な知識の習得を目指す。さらに、それらの概念および私たちが成り立たせている制度や現実の背景にある歴史や思想についての基礎的な理解を目指す。						
授業の進め方・方法	授業は毎週に配布するレジュメを中心に進める。新聞記事などの紹介や、前回授業アンケートの紹介とその中の質問への応答も適宜行う。ミニツツペーパー（授業への質問等を記入する紙）を適宜配布する予定である。						
注意点	定期試験（期末試験）80%、課題レポート10%、毎回の授業アンケートへの取り組み（理解・感想・質問など）10%を目安として評価する。再試験は必要に応じて行う。評価基準：60点以上を合格とする。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	イントロダクション（講義の進め方・評価方法、政治とは何か）		「政治」に対する多様な考え方があることを理解する。		
		2週	デモクラシーの歴史・古代ギリシャ		直接民主制・ポリス、プラトン等のデモクラシー批判の理解。		
		3週	古代ローマ・共和政		デモクラシーと異なる共和政および混合政体の理解。		
		4週	中世ヨーロッパ		キリスト教共同体の特色の理解。		
		5週	ルネサンス・マキアヴェリ		マキアヴェリの政治思想における力量やstatoの概念の理解。		
		6週	宗教改革・ルター		宗教改革の歴史の概要の理解。		
		7週	イングランド内乱・ホッブズ・主権		ホッブズの政治思想の内容（主権等）と背景の概要の理解。		
		8週	名誉革命・ロック・統治二論		ロックの政治思想の内容（信託等）と背景の概要の理解。		
	4thQ	9週	ルソー 文明批判と社会契約論		ルソーの政治思想の内容（一般意思等）と背景の概要の理解。		
		10週	ヒューム 党派・言論の自由・文明社会		18世紀イングランドの歴史とヒューム政治思想の概要の理解。		
		11週	アメリカ独立・フェデラリスト		アメリカ独立と、独立後の憲法制定をめぐる歴史の特徴の理解。		
		12週	フランス革命・バーク・保守主義		フランス革命の概要と革命を批判したバークの思想の概要の理解。		
		13週	トクヴィル・ミル		トクヴィルやミルの自由主義の政治思想の概要の理解。		
		14週	日本におけるデモクラシー		明治期以降の日本における西洋政治思想の受容と特徴の概要の理解。		
		15週	戦後のデモクラシーおよびまとめ		第二次世界大戦後のデモクラシーの概要の理解。		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	10	0	10	100
基礎的能力	80	0	0	10	0	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0